

2014年4月1日 全5頁

【統計情報】景気が見えるグラフ32(2014年4月号)

データバンク室

[要約]

■ I. 国内景気

GDP統計／実質成長率……………2次速報、+0.2%に下方修正
 鉱工業生産指数……………1月の反動や大雪の影響等で低下
 日銀短観／業況判断DI……………1Q実績は改善、先行き予測は慎重な見方
 景気動向指数CI……………1月、一致指数が強めの動き
 設備投資動向……………機械受注増加基調
 消費総合指数……………上昇基調続く
 貿易収支……………2月は赤字幅減少
 対米・対アジア輸出数量……………横ばい傾向続く
 新設住宅着工……………18カ月連続増も前年比伸び率は縮小
 首都圏マンション販売……………大雪の影響等で2月単月では24.1%減
 物価動向……………企業物価の上昇テンポが鈍化
 マネーストック……………マネーストック伸び率がやや低下
 完全失業率……………3.6%と6年7カ月ぶりの水準に改善
 有効求人倍率……………1.05倍に改善
 企業倒産件数……………前年比減少傾向続く
 日銀短観／資金繰り判断DI……………大企業わずかに改善、中小は横ばい

■ II. マーケット

為替レート	実効為替レート
日米株価指数	中国・ブラジル株価指数
日米欧政策金利	日米独国債流通利回り
中国・ブラジル・インド政策金利	商品指標（原油・金）

■ III. 海外経済

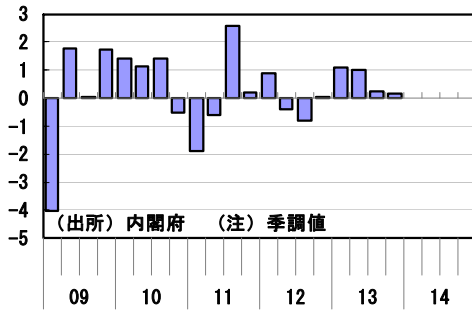
米国GDP／実質成長率……………4Q確定値、+2.6%に上方修正
 米国雇用統計……………2月の雇用者数は17.5万人増
 米国小売売上高……………2月の全体は、前月比+0.3%
 米国PCEデフレーター……………2月のコアデフレーターは+1.1%
 中国GDP／実質成長率……………4Q、伸び率+7.7%
 中国鉱工業生産……………2月は+8.6%
 中国消費者物価指数……………2月の全体は+2.0%
 中国PMI景気指数……………3月は0.1ポイント上昇し、50.3%に

当資料は4月1日までの公表データで作成しています。

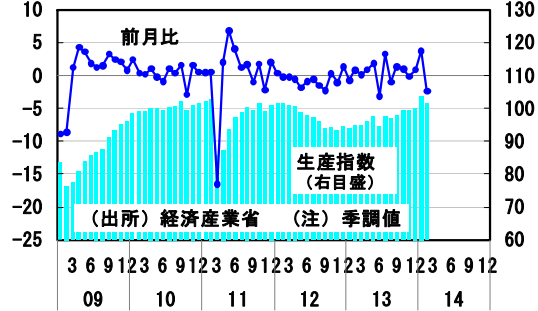
* 大和総研のウェブサイトでは、「景気が見えるグラフ32(詳細版)」を公開しております。ご活用いただければ幸いです。
<http://www.dir.co.jp/InfoManage/datarasc-s.html>

I. 国内景気

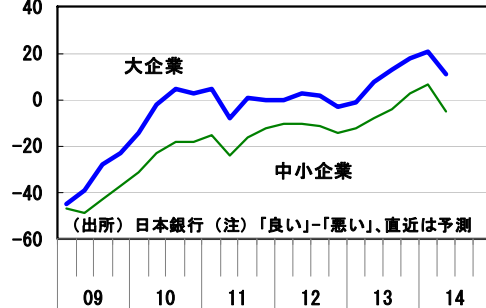
GDP統計／実質成長率
 (前期比%) ~2次速報、+0.2%に下方修正~



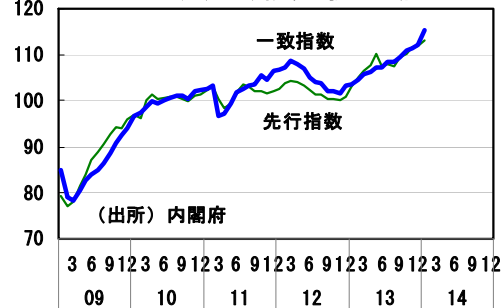
鉱工業生産指数
 ~1月の反動や大雪の影響等で低下~ (2010年=100)



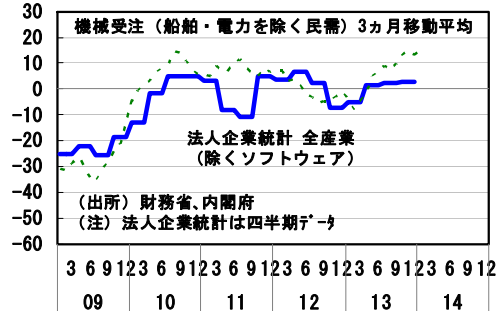
日銀短観／業況判断DI
 (%ポイント)~1Q実績は改善、先行き予測は慎重な見方~



景気動向指数CI
 (2010年=100) ~1月、一致指数が強めの動き~



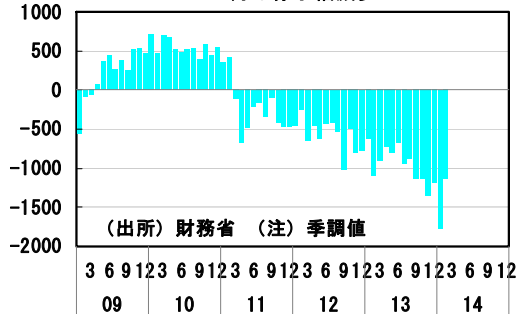
設備投資動向
 (前年比%) ~機械受注増加基調~



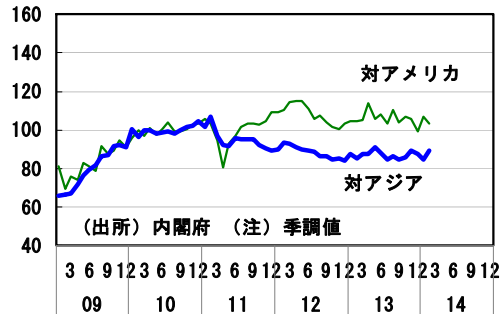
消費総合指数
 (05年=100) ~上昇基調続く~

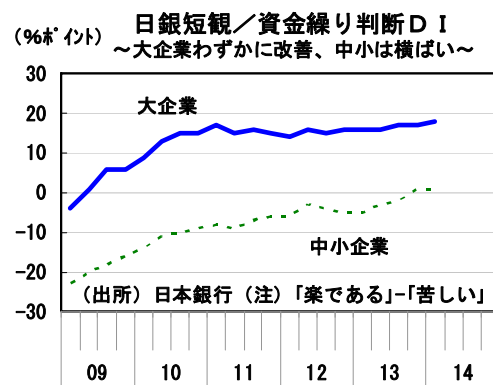
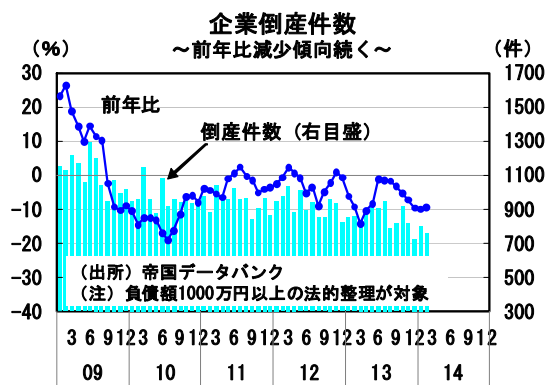
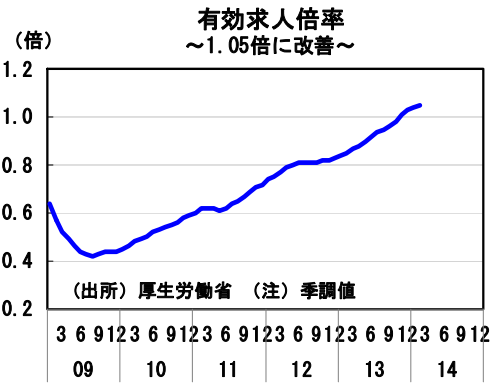
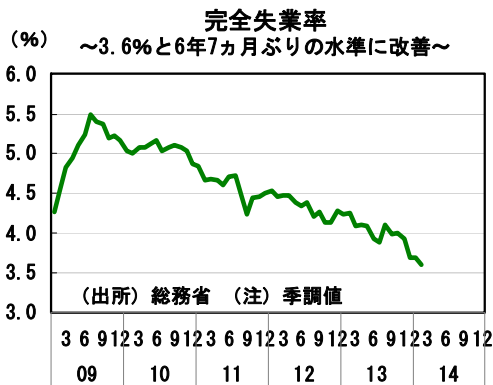
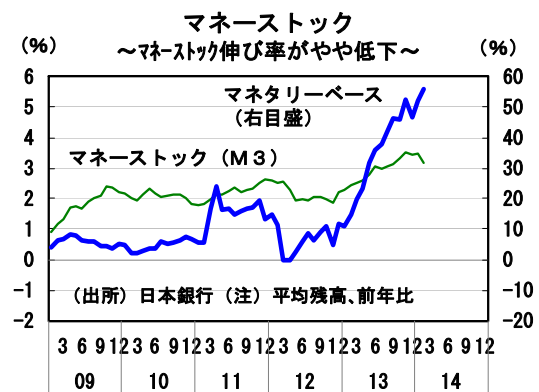
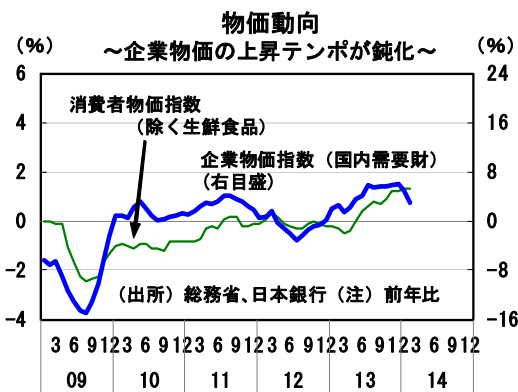
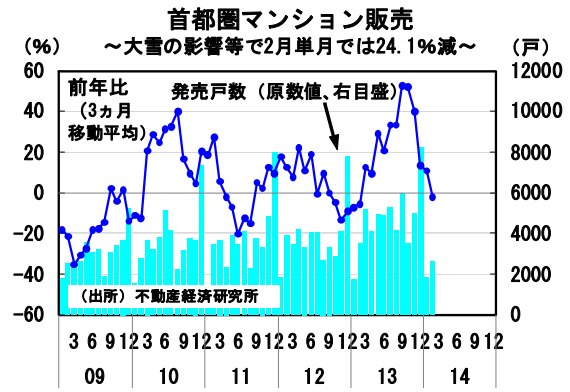
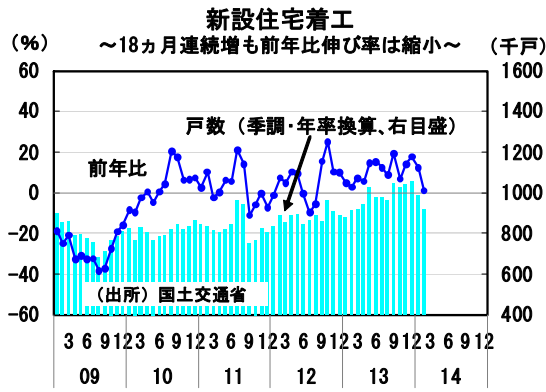


貿易収支
 (十億円) ~2月は赤字幅減少~



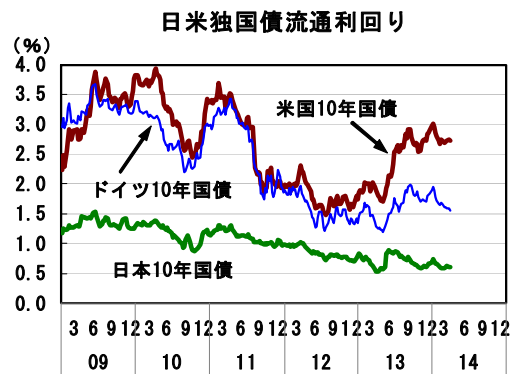
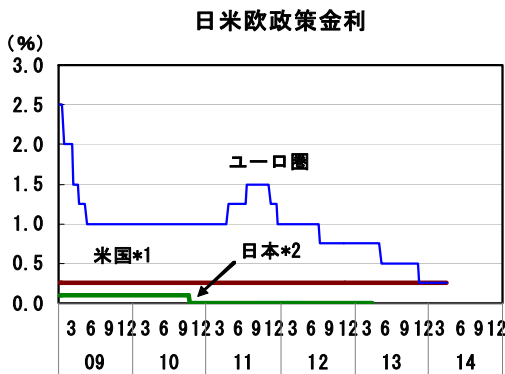
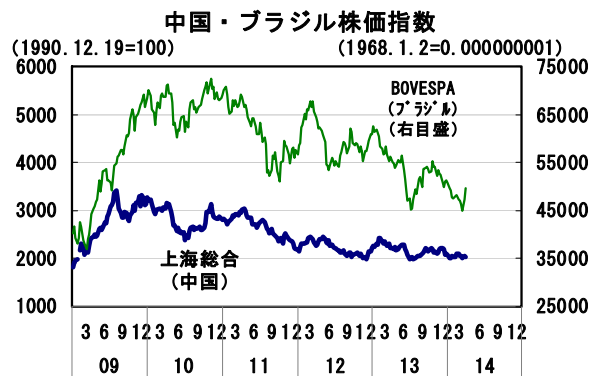
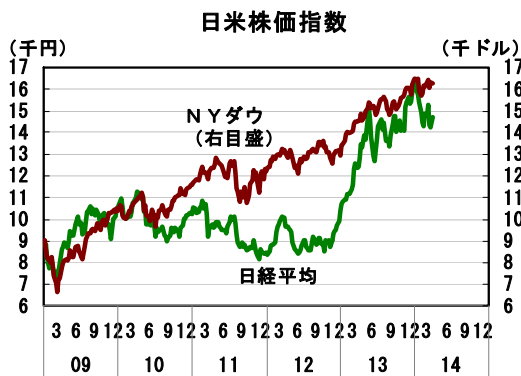
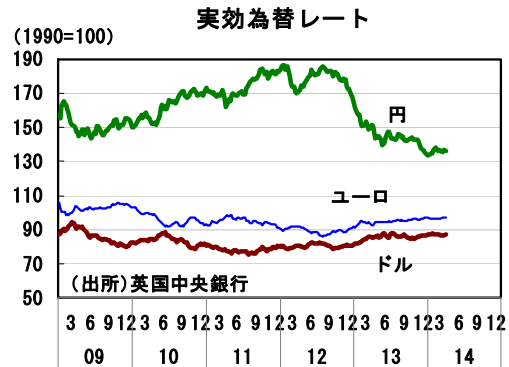
対米・対アジア輸出数量
 (2010年=100) ~横ばい傾向続く~



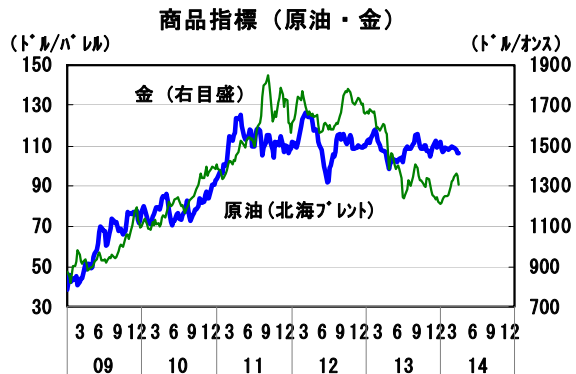
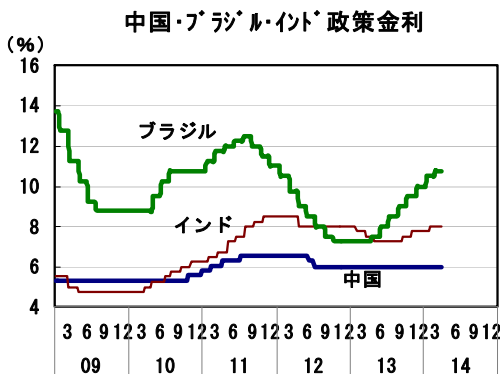


前年比は3カ月移動平均

II. マーケット



*1)米国 2008/12より0.00%~0.25%
 *2)日本 金融市場調整の操作目標をマネタリーベースへ変更(2013/4)



(出所) 当頁、全グラフのデータは、各国証券取引所、各国中央銀行等の公表データです。

Ⅲ. 海外経済

